

2010年4月22日

記者各位

出光興産株式会社
(コード番号:5019 東証第1部)

第3次連結中期経営計画(2010～2012年度)について

当社グループは、昨年4月に第3次連結中期経営計画の基本戦略と投資の考え方を公表しましたが、この1年間の環境変化を踏まえ、新たに2015年度をターゲットとする“長期ビジョン2015”を取りまとめました。あわせて、このビジョンに向けた実行計画となる“第3次連結中期経営計画”(2010～2012年度)を策定しましたのでお知らせします。

1. 長期ビジョン2015

当社グループは、エネルギー確保と有効利用、並びに高機能材の開発を通じて、経済と環境の調和ある社会の発展に貢献する企業グループをめざします。

2015年度(平成27年度)には、連結ベースで1,800億円の営業利益^{※注1}を目標とし、基盤事業、資源事業、高機能材事業^{※注2}の営業利益の構成比を、それぞれ30%、40%、30%とし、バランスのとれた事業ポートフォリオの構築を進めます。

(注1)持分法投資損益、受取配当金を含む

(注2)各戦略区分セグメントを構成する事業

基盤事業:燃料油、基礎化学品、再生可能エネルギー

資源事業:石油開発、石炭、ウラン

高機能材事業:潤滑油、機能材料、電子材料、アグリバイオ

2. 第3次連結中期経営計画(2010～2012年度)

長期ビジョンを達成するために、2010年度から3年間の実行計画を以下のとおり策定しました。

(1) 概要

① 基本戦略

基盤事業:精製能力削減を含む国内販売・供給体制の再構築、海外成長市場における事業拡大

資源事業:保有鉱区の開発による生産規模拡大、探鉱開発の強化による埋蔵量確保

高機能材事業:環境配慮型商品の開発強化とグローバル展開

② 経営指標

営業利益 [※]	1,200 億円 (2012 年度計画)
当期利益	480 億円 (同上)
投資総額	3,700 億円 (2010～2012 年度)
コスト削減目標	500 億円 (2009 年度対比)

※持分法投資損益、受取配当金を含む

(2) 事業戦略

① 基盤事業 (燃料油、基礎化学品、再生可能エネルギー)

燃料油事業については、国内需要の減少に対応して、**2013 年度を目処に 10 万 BD 程度の精製能力を削減すると同時に、販売体制の強化・効率化および物流・精製コストの削減を進めることにより、国内事業を再構築する。**一方、市場が拡大する海外では、**ベトナム ニソプロジェクトや海外燃料油販売・トレーディング事業などの拡大を図る。**

基礎化学品事業については、千葉において、三井化学(株)とエチレン装置の運営を統合するなど、コンビナート競争力の強化を進める。

再生可能エネルギー事業については、風力開発を含むグリーン電力事業、地熱開発、バイオ燃料などの低環境負荷のエネルギー供給の拡大に取り組む。

② 資源事業 (石油開発、石炭、ウラン)

保有鉱区の開発による生産規模の拡大と探鉱開発の強化による埋蔵量の確保を進める。

石油開発については**ノルウェー、英国、ベトナムに保有する鉱区の開発により、2012 年度に生産量を 38 千 BD (2009 年度比 +8 千 BD) に拡大するとともに、新規探鉱鉱区の取得を行なう。**

石炭についてはオーストラリアに保有する**ボガブライ鉱山の大規模開発などにより、2012 年度に生産量を 1,100 万 t/年 (2009 年度比 +125 万 t/年) に拡大する。**

ウランについては、2013 年にカナダ・シガーレイク鉱山での生産開始を予定する。

③ 高機能材事業 (潤滑油、機能材料、電子材料、アグリバイオ)

保有技術を活かした環境配慮型商品の開発を強化し、グローバル展開により事業拡大を進めていく。

潤滑油事業では、南米・ロシアなどの新興国を中心とした**グローバル展開と、環境配慮型商品の開発・販売の強化により、2012 年度には販売数量 110 万 KL/年 (2009 年度比 30%増) をめざす。**

機能材料事業では、**軟質ポリプロピレン (LMPP) 製造装置の新設や既存事業の強化により、2012 年度には販売数量 52 万 t/年 (2009 年度比 20%増) をめざす。**

電子材料事業では、有機 EL のディスプレイ・照明向け材料事業を柱に、有力パネルメーカーとの取り組みを強化することで、事業の拡大を図る。

アグリバイオ事業では、農業分野、畜産分野、緑化分野を軸に、「食の安全・安心」「環境保全」に貢献する事業をグローバルに展開する。

(3) 投資戦略

投資総額 3,700 億円

全体の 80%を戦略投資に配分し、成長が見込まれる資源、高機能材事業、及び海外案件に重点的に投資する。

＜主な戦略投資案件＞

基盤事業	ベトナムニソンプロジェクト、海外トレーディング事業、再生可能エネルギー
資源事業	ノルウェーベガサウス開発(石油開発)、豪州ボガブライ鉱山拡張(石炭)、カナダシガーレイク鉱山開発(ウラン)
高機能材料	潤滑油海外拠点、新規粘接着基材製造装置、有機 EL 関連

(4) 合理化・スリム化の推進

コスト削減目標 500 億円(2009 年度対比)

基盤事業を中心に、販売・物流の合理化、製油所・工場における設備管理の効率化や省エネ・合理化の推進、管理・間接部門のスリム化などにより、2012 年度には 2009 年度比で 500 億円のコスト削減をめざす。

(5) 経営指標

(単位:億円)

	2009 年度見通し	2010 年度計画	2012 年度計画
売上高	31,200	33,300	37,500
営業利益*	460	560	1,200
当期利益	60	100	480
投下資本営業利益率	3.2%	4.0%	8.0%
自己資本比率	19.0%	19.0%	22.0%
ネット D/E レシオ	1.8	1.7	1.5

※持分法投資損益、受取配当金を含む

添付資料: 第3次連結中期経営計画(2010~2012年度)

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている当社の業績見通し、戦略、経営方針などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいて作成しております。

実際の業績に影響を与え得る要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向、市況、為替レートおよび金利など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。

従いまして、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 IR・広報室広報課 TEL:03-3213-3115

URL <http://www.idemitsu.co.jp>